

「原子力総合シンポジウム 2020」の開催について

主 催：日本学術会議総合工学委員会原子力安全に関する分科会

共 催・協賛・後援：関連学協会

日 時：2020年9月30日（水）13:00～17:10

場 所：オンライン開催

参加費：無料（事前登録制）

開催趣旨：原子力総合シンポジウムは、我が国の原子力について総合的に議論を行う場である。日本学術会議と関連学協会が協力し、各界の識者を交えて、これまで50年以上にわたり中長期的視点から議論が行われてきた。

東京電力福島第一原子力発電所の事故より来年で10年となる今日においてもなお、避難を余儀なくされている方々が多数おられ、今後も廃炉と復興はもとより、原子力安全について長期に亘る継続的な努力が必要である。

そこで、今回の原子力総合シンポジウムにおいては、「2050年の持続可能社会の実現にむけたシナリオと原子力学術の貢献」をテーマとして取り上げ、技術と社会の両面の視点からの議論を行う。その際、技術的な側面とともに、人文社会学的、社会心理学的側面の議論を行うことで、社会のニーズに応えられる原子力技術のありかたが議論されることを期待したい。上記テーマのもと、3つの論点について基調講演とパネル討論を行い、総合討論により課題の明確化、将来の方向性について議論する。

プログラム

全体進行：柘植綾夫(日本学術会議連携会員、日本工学会顧問・元会長)

13:00 開会挨拶 大倉典子 (日本学術会議第三部会員、芝浦工業大学名誉教授)

13:20 論点1「持続可能社会の実現にむけたシナリオ」

司会：上坂 充 (日本学術会議連携会員、東京大学教授)

講演：秋元圭吾 (日本学術会議連携会員、地球環境産業技術研究機構 (RITE)

システム研究グループリーダー・主席研究員)

14:10 論点2「エネルギーと環境との調和－イノベーションへの期待」

司会：岡嶋成晃 (日本原子力研究開発機構原子力エネルギー基盤連携センター長)

講演：山口 彰 (東京大学教授)

14:50-15:10 (休憩)

15:10 論点3「エネルギーの確保－技術的要件と社会的要件」

司会：松岡 猛 (日本学術会議連携会員、宇都宮大学非常勤講師)

講演：技術的要件：小宮山涼一 (東京大学准教授)

講演：社会的要件：野口和彦 (日本学術会議連携会員、横浜国立大学客員教授)

16:10-17:00 総合討論

モデレータ：山地憲治(日本学術会議連携会員、RITE 副理事長・研究所長)

パネリスト：秋元圭吾、山口 彰、野口和彦、小宮山涼一、

土田昭司 (関西大学教授)

17:00 閉会挨拶 中島 健 (日本原子力学会会長、京都大学教授)

共催・協賛*・後援**学協会（予定）

エネルギー・資源学会	日本海洋学会	日本地質学会
化学工学会	日本化学会	日本電気協会
環境放射能除染学会	日本核医学会	日本農芸化学会**
空気調和・衛生工学会	日本機械学会*	日本非破壊検査協会
計測自動制御学会*	日本技術士会**	日本複合材料学会**
失敗学会	日本気象学会	日本物理学会*
地盤工学会	日本原子力学会	日本放射化学会
電気化学会	日本建築学会	日本放射線影響学会
電気学会	日本高圧力技術協会	日本保全学会
電子情報通信学会*	日本航空宇宙学会	日本溶接協会
土木学会	日本コンクリート工学会**	日本流体力学会*
日本アイソトープ協会	日本混相流学会	日本ロボット学会
日本アーカイブズ学会*	日本地震学会	プラズマ・核融合学会
日本医学放射線学会	日本シミュレーション学会	溶接学会
日本応用地質学会	日本心理学会	レーザー学会*
日本海水学会	日本セラミックス協会	